壺川小学校　学校便り　No.６　　2020 年 7 月 2 日（木）

# 命と笑顔が輝く壺川小

文責　校長　藤米田成二

## いよいよ７月！～再開から１か月～

６月に学校が再開して、1 か月が経ちました。委員会やクラブも始まり、学校ではどの子もとても活発に、友達との関わりを楽しみながら過ごしていますが、ご家庭ではいかがでしょうか。日中は蒸し暑く、エアコンがつけてあってもマスクをはめての生活は子どもたちにとって負担が大きく、疲れもたまることでしょう。しっかり食事で栄養をとり、早めに就寝できるようにしてほしいと思います。

さて、いよいよ 7 月です。今年度は 31 日まで 1 学期となりますので、暑い中の登校があと 1 か月続きます。さらに水泳の授業もありません。熱中症にも十分気を付けながら、感染症対策も引き続き行いたいと思います。昼休みの外遊びや体育の時間にはマスクを外してティッシュで挟んでおくようにしています。汗もかきますので、ティッシュやハンカチ等毎日持たせてください。子どもたちが 1 学期を元気に乗り切れますように、手洗い等も含めご家庭での声掛け、ご協力をよろしくお願いいたします。

**７月は「文月（ふみつき）」**

「文月」の由来は諸説ありますが、七夕の行事で短冊に歌や字を書き、書道の上達を祈ったことに因んだ「文披月（ふみひらきづき）」から転じてつけられたと言われています。

今も昔も七夕には短冊に願い事を書いていたんですね。

## 人権旬間が終わりました。

先週までの人権旬間では、各クラス熱心に取り組んでいました。学級目標の中に友達のことを考えた言葉が入っていたり、授業を通してどんな言葉が相手を大切にするかを考えたりしていました。

各クラスで友達を笑顔にする「ふわふわ言葉」を話し合い、そこで出された言葉を廊下の「人権の木」に掲示してありました。それを見ると、一番多かった言葉は「**ありがとう**」でした。他にも「**一緒に遊ぼう**」や「**大丈夫？**」など、言われてうれしい言葉が掲示してありました。この人権旬間を通して、お互いに笑顔で学校生活が送れるような「ふわふわ言葉」に気付いたようです。これから、この「ふわふわ言葉」をみんなで使えば、子どもたちの笑顔が輝く壺川小になること間違いなし！です。

「ありがとう」はいい言葉ですね

## 朝の観察　～時代は変わりました～

朝から自分たちが育てているアサガオの水やりをするのが 1 年生の日課です。水やりをしながらアサガオの成長を見るのですが、時代は変わりました。成長の様子を毎日タブレットで写真を撮って担任に送っています。その作業を 1 年生の子どもたちが当たり前のようにしているのを見て、生まれた時からスマホやタブレット、インターネットに囲まれた中で育った子どもたちはすごいなあと思いました。日々の成長を写真で記録できるのはとても便利です。つなげると成長の様子が一目瞭然です。再開して 1 か月の間にタブレットを使いこなしている 1 年生の子どもたち。アサガオの成長よりも子どもたちの成長に驚いた私です。

タブレットを使いこなしています。